

「高度外国人材等受入促進事業」

市の課題

- ①観光分野の知名度の高さに比べて、経済分野の認知度は低く、近年増加している高度外国人材の国内在留者から仙北市は全く認知されていない。
- ②市内在住の高度外国人材は少なく、高度外国人材雇用のノウハウも少ない。また、起業・創業を志す高度外国人材等へのサポートする支援体制も十分ではない。
- ③市内に高等教育機関がなく、高校卒業後に市外に転出する「18歳の崖」が発生している。生産年齢人口の減少に繋がり、地域経済の縮小を招いている。

取り組み

①高度外国人材等招聘促進事業

高度外国人材等の市内招聘を促進するため、国内の外国人ITエンジニアや留学生等の高度外国人材等のニーズや市内不足サービスの調査や、市内事業者等の高度外国人材等に関するニーズ調査、その他招聘促進活動等を行う。

②高度外国人材等受入環境整備事業

国家戦略特区の優位性を活かし、外国人材受入企業等の各種相談や情報提供、外国人を含めた起業・開業の相談・対応支援を総合的に行うグローバル雇用・創業ワンストップセンターを企画・設置する。

めざす将来像

- ①高度外国人材等の市内雇用を促進することで、市内事業者の成長や安定経営を支援し、地域の産業振興を図り、人口減少が進行する社会においても持続可能で活力のある地域づくりを行う。
- ②市内に高度外国人材等が集まり、地域経済が活性化することで、地元の有望な若年層に雇用の場、創業機会等を提供し、市外流出による社会減の抑制を目指す。



市内事業者や他事業と連動し
「地域経済の活性化」
「定住人口の増加」

を目指します

